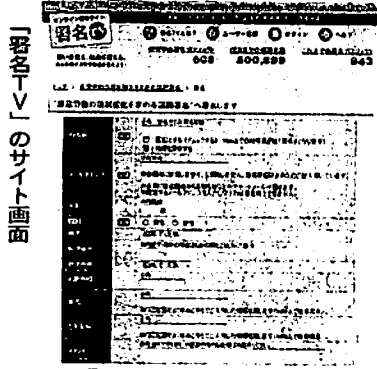


# ネット署名名広がる

## 確認困難 効力は「？」

### 薬事法改正反対 大河ドラマ誘致...



「署名TV」のサイト画面

インターネットで署名する「ネット署名」が広がっている。ネット上の署名呼びかけに賛同すれば、パソコンの画面で名前やメールアドレスなどを打ち込み、送信ボタンをクリックして終了。パソコンがあれば誰でもいつでも署名に参加できるから、大衆の署名集めが早くできる一方で、一人で何度も署名しやすいことや本人確認が難しいなどの問題点もある。

(三島あすき、岩田尚隆)

ネット署名で知られているのは「棄天」だ。厚生労働省が一般向け医薬品について、インターネットなどを通じて通信販売を禁止する方針(薬事法改正)を打ち出したのに対し、昨秋から反対運動を展開。自社のサイトで署名を呼びかけた。住所、氏名、メールアドレスが登録済みの方針(棄天)を聞き込みたい人向けには住所、氏名、メールアドレス

#### 「多数の人が参加」

署名数が100万件に達した4月初め、同社は署名をまとめた数十冊のファイルを厚生労働省に提出。運動は実らなかつたものの、棄天は「街頭署名名だたら参加できなかった多数の人が運動に加わった」と評価する。同省医薬食品局総務課は「ネットかどうかを問わず、数は数として受け止

める。しかし多いからといって影響を受けることはない。自治体でネット署名を募っているのは茨城県鹿嶋市だ。NHK大河ドラマの舞台誘致を目的に07年12月にスタートし、すでに約6万件。市の総人口を上回る勢いだ。必須の記載は氏名と住所だけのため、署名した人が実在するかどうか確かめるすべもない。

#### 「小室さん減刑」も

手法を遊ばせてはいるが、ネット署名は、刑事被告人の減刑を求める嘆願書に添える署名にも使われている。詐欺罪で有罪判決が確定した音楽プロデューサーの小室哲哉さんの裁判だ。弁護人によると、証拠採用されたファンらからの「減刑を求める嘆願書」の署名や手紙は約6千人分。その約3分の1はネットを通じて集められたものという。名古屋の関サイト殺人事件は被告の減刑を求める署名だ

#### マナー高まれば力

ITジャーナリストの井上トシユキさん(44)の話。ネットという身近なツールを使って、ふつうの人が政治家や司法の世界などに直に声を伝える回路としては、ネット署名は非常に有効だ。ただ、一部の人が悪乗りして多数の署名をしたり、署名を募っている人のブログに反対者が押しかけて「炎上」させたりする例もあり、「民意」が暴走する危険性をはらむ。「ネットではなく、現実でも振る舞うのが当然」という認識がもっと定着すれば、ネット署名の信用性も上がり、影響力を増すだろう。

#### 専門サイトも

ネットに署名を呼びかけた人たちが向けの署名専門サイトもある。08年3月、IT企業「横浜市」が開発した「署名TV」だ。関根健次社長(38)が「誰もが社会の前進を委

託したネット署名は約940。署名総数は約50万件という。テーマは、貧困国の児童労働撲滅の働きかけを政府に訴えるもの▽病気の難病指定を厚生労働省に求めるもの▽アニメ番組の再放送をテレビ

局に留むものなど幅広い。同社は、同じ人が何度も署名できてしまう問題への対策として、署名を送信した人に確認メールを送り、そこで打ち返しがなければ署名として認めないことをルール化。これで架空アドレスの悪用はほとんど避けられるという。

「膨大な個人情報をもたらしても扱いに困る」と言われたた。署名数を伝えるだけに、さらに「(署名の)数は重視しない」とも言われたが、「地元の盛り上がりやアピールするにはこれしかない」として、同市は20万件を目指してネット署名を続けている。

った。被害女性の母親が街頭とネットを通じて集めた「減刑を求める署名」は地裁判決までに約32万件にもなった。証拠採用されなかったが、検察側は法廷で「署名数の多さ」を繰り返した。弁護人によると、32万件のうち街頭署名名分は約1万4千件だった。いずれのケースもネットは使われたが、棄天の手法とは違った。電子データをそのまま送信せず、パソコンから署名用紙をダウンロードして印字。そこに自筆で署名して郵送する手法をとっていた。

ある裁判官は「そもそも被告の身柄引受人や被害者ら事件に直接かわる人以外の」第三者からの嘆願書は証拠採用されにくい。本人確認のしよがないネット署名はなおさらだ。裁判員裁判でも、裁判上の意味はほとんどないだろう」とみる。別の裁判官は「膨大な数になった時、影響があるかわからない」。一方で、自署が原則である国会への請願や首長の解職などを求めて住民が行う地方自治法の直接請求の署名となると、ネット署名は通用しない。直接請求には押印も必要だし、選挙人名簿によるチェックもある。それでも衆参両院の請願課は「制度変更などは考えていないが、「ネット署名でもいいか」という問い合わせはあり、(広がり)を注視している」と語る。